

環境カウンセラーみえ

活動紹介

■活動場所 : 四日市市及び北勢部

■活動日、活動頻度等 : 2ヶ月に1回定例会。但し、事業開催前は月数回

■活動内容など

- ・平成31年3月21日(木・祝)「リサイクル材を利用した子供環境教室」(オルゴール作り)を開催した。参加者は児童20名、保護者10名の計30名であった。(四日市公害と環境等未来館研修・実習室)使用済み活性炭や木材残材を使い、発電・圧電素子をスピーカーとして、3端子ICモデルでオルゴールを作る工作で、環境と科学の基礎を優しく解説し、参加児童の多くから興味と、楽しさの感想を得ている。:30年度末活動実績(参考)
- ・令和元年10月9日(水)当会会員の四日市市クリーンセンター見学会を実施した。
- ・令和元年12月15日(日)「プラスチックによる海洋汚染を考える」セミナーを開催した。世界の海洋に廃プラスチックが流出し、マイクロプラスチックとなり地球的規模で生態系、生活環境、漁業、観光等への悪影響が懸念されている。国内でもその対応が重要かつ喫緊の課題として議論されており、SDGs目標14に該当することを地域社会の人々にも広く関心と理解を得る事を目的として実施した。内容は①国の対応策、②研究者の調査結果からの提言、③企業出身者としての石油系及び生分解性プラスチックの概要3項目の講座とした。(四日市公害と環境未来館講座室、参加者総勢43名)

代表者の想い

■本会の各環境カウンセラーは、制度上事業者部門と市民部門に区別されているが、会員数は5名と少なく、そのため現状の活動は区別することなく一体となって行っている。いずれ会員が増加した時点で、専門分野の活動も考慮したいと考えている。又、会員は全員他の環境団体等にも所属しており、活動の方向性や活動時間等の調整が永続的に必要となっているが、容認しながらの活動とならざるを得ない。次年度も廃プラスチックに関する調査・対応等について、活動の継続を検討したい。

PR

1996: 環境省「環境カウンセラー登録制度実施規定」公布

2018:

「環境カウンセラー みえ」、2018年4月27日設立。

(事業者部門・市民部門)で設立し、活動を開始

【事業者部門】主に、企業等、事業者の方のコンサルティング。企業が抱かえる問題や課題について最も望ましい解決に適切な助言・講義を行う。

【市民部門】主に、地域・学校等、市民の方のコンサルティング。環境保全活動や環境学習等に対し、問題や課題の解決に向けて適切な助言・講義等を行う。

